

ミカンの腐敗を軽減する梱包容器の改良

成果の特徴

- ・ 整列梱包容器の適応サイズおよび詰込作業性を向上させた梱包容器(簡易トレー容器)を開発しました。
- ・ ミカンに掛かる荷重の方向を制限する梱包容器では、ミカン果実の腐敗発生が抑制されます。

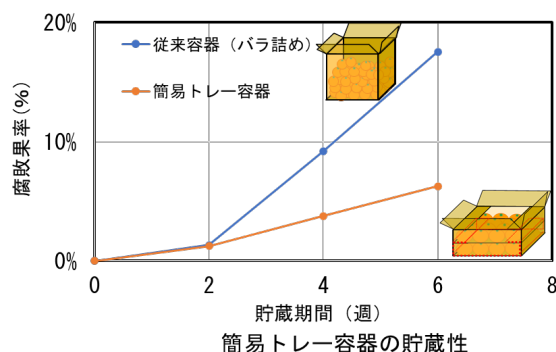
成果の内容

- ・ 海外(シンガポール)への輸出において、輸送中に腐敗等により約13%の減耗が発生しています。
- ・ 梱包容器内を2段積みとし、トレーで荷重を受ける梱包形態(簡易トレー容器)を開発しました。
- ・ 国内貯蔵試験では従来容器(バラ詰め)に対して簡易トレー容器はR4年に開発した整列梱包容器と同様に腐敗抑制効果が確認されました。

	従来容器 バラ詰め	R4年度 整列梱包容器	R5年度 簡易トレー容器
果数 (L玉)	約80果	80果	約40果
質量	10kg	10kg	5kg







2023年11月末購入 5℃で貯蔵(輸出試験対応のため)
12月21日～均質化処理後 試験開始
試験区 : 従来容器(バラ詰め)、簡易トレー容器

- ・ 同一産地で収穫されたミカン用いてシンガポールへの輸出試験および国内貯蔵試験を実施し腐敗抑制効果を確認する予定です。

想定される用途・連携希望先

- ・ ウンシュウミカンの海外輸出用(船便)での利用が想定されます。
- ・ 輸出に興味のある生産者団体や公設試等の普及機関との連携を希望します。

参考

本研究は生研支援センター「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の支援を受けて行ったものです。

担当研究者：萩原 昌司
所 属：食品研究部門
食品流通・安全研究領域